

I 若手の先生に聞きました！

東京都の公立学校で実際に活躍している先生方に、教職の魅力ややりがいなどをインタビューしました。

杉山 凌太 先生 江東区立水神小学校 教諭

PROFILE

出身地：東京都

専門教科：外国語活動・外国語

目指す教師像：子供が安心感を得られる教師



所属校紹介

アットホームで温かい雰囲気の小学校です。失敗しても、先輩の先生方が優しく励ましてくれます。

子供たちも素直で、地域の方々も協力的です。

Q 東京都の教員になるために、大学生のうちにしておくとよいと思うことは何ですか？

A 常にアンテナを高くもつことだと思います。社会で起こっていること、教育に新たな可能性をもたらすものごと、それらに関心をもつことが大事です。

「立場が人を育てる」とも言われていますし、自分の経験からも、ボランティア、スポーツチームのリーダーなど、自分が成長できそうなことにチャレンジすると良いと思います。前向きな姿勢があれば、その姿を見た人が応援してくれます。コミュニケーション能力や計画性をもって先を見通す習慣も付き、自分自身の成長につながります。

Q 東京都の学校で働くことのメリットは何ですか？

A 地域性が多様なことです。また、同期が多いので、情報交換もしやすいです。様々な先生と出会うことができるのも数あるメリットの一つです。

Q 教員を目指す皆さんに、伝えたいことは？

A 教員という仕事は、この仕事でしか味わえないやりがいがあります。子供たちから多くのことを学び、心の新鮮さを保つことができます。

指導方法など、挑戦したいことは、明日すぐにもできることが魅力です。なにより、子供たちに囲まれ、成長に携われることに喜びを感じます。





PROFILE

出身地：東京都

専門教科：国語

目指す教師像：子供たちのことを大切に思って行動できる教師

所属校紹介

校庭が広く、給食がおいしいです。自然環境にも恵まれています。先生たちも、生徒のことを一番に考えて活動しています。

Q 東京都の教員になるために、大学生のうちにしておくとよいと思うことは何ですか？

A 学生でも参加できる研究会や企業のインターンシップに積極的に参加するとよいと思います。学校での教育ボランティアをするのもおすすめです。先生方の授業の様子や、生徒との関わりを生で見られる機会になるからです。

また、教員は柔軟な対応力が求められるので、子供だけではなく、色々な人との関りをもっておくとよいです。人の気持ちに寄り添える力を付けて欲しいです。

今は、デジタル機器を使った授業も多く取り入れています。デジタル機器の基本的な操作や、プレゼンテーションソフトでのスライド作成の技能は、授業で使うこともありますし、生徒の興味・関心を引き出すのに大変有効です。学生のうちからデジタル機器を用いたプレゼンテーションができるようになっておくとよいです。

Q 魅力ややりがいを実感したことは何ですか？

A 生徒の成長を感じられたときにやりがいを感じます。スピーチに課題意識のある生徒に対して指導の仕方を工夫したところ、発表会で、うまくスピーチをすることができました。また、音読発表についても、積極的に取り組む姿がクラス全体で見られます。そういった生徒の「頑張りたい」という意欲にやりがいを感じます。

Q 教員を目指す学生の皆さんに伝えたいことは？



A 教員になると、学生の時には分からなかった子供たちの魅力が分かります。自分の考えたことを、子供たちに提示したり、授業に取り入れられたことが、学びや笑顔につながるの、他の仕事ではなかなか経験できないことだと思います。そのためには、洞察力、コミュニケーション力を付けることが必要です。

今できることを、一生懸命に頑張ってください。

PROFILE

出身地：東京都出身

専門教科：水産

目指す教師像：生徒の様々な思いを引き出せる教師



所属校紹介

身近に海があるという立地から様々な実習が行える環境にあります。水産・海洋系高校の中で最も大きな実習船を持っています。寮生活を通して自立的な生活を行えます。

Q 東京都の教員になるために、大学生のうちにしておくとよいと思うことは何ですか？

A 授業研究については、今までの経験が全て授業に使えます。自分の場合は、水産に関わる経験は全て授業に使えました。また、水産科は、実習が多いので、海洋に関する「技能を磨くこと」、「資格を取っておくこと」をやっておくとよいと思います。生徒に、自分の経験として話ができるからです。

私が学生の時は、漁村実習の経験をしました。そこでは、船の操作や航路についての実習を行いました。授業に直接関係しないことでも、ダイビングなどのマリンスポーツなど、海に関係することは経験しておきました。

Q 東京都の学校で働くことのメリットは何ですか？

A 島しょ地区なので、自然が豊かで海も火山もあります。風通しのよい職場環境のため、実習や研究など、したいことを提案しやすく、居心地よく仕事ができることがメリットだと思います。

島での生活は、海が身近にあること、プライベートでも海に関わることが経験できるのがよいと思っています。



Q 教員を目指す学生の皆さんに伝えたいことは？

A 水産科については実習が多く、自身の技能や資格も必要です。そして、思っていたよりも体力仕事です。専門性はもちろん、他の分野もマルチに求められることが多いですし、生徒の「できた」「分かった」等、成長を大きく感じられる科目でもあるので、今までもこれからも、様々な経験を積むことが大切です。



PROFILE

出身地：東京都出身
校種：特別支援学校小学部
目指す教師像：一人一人の子供に寄り添える教師

所属校紹介

ろう学校としては、規模の大きい学校です。アットホームな雰囲気、子供たちもびのびと学校生活を送っています。先生方も、専門性の高い先生がいて、色々とお教えていただいています。

Q 東京都の教員になるために、大学生のうちにしておくとよいと思うことは何ですか？

A 授業については、専門的な知識を大学できちんと学んでおくことが大事です。特別支援教育に限らず、「子供たち一人一人に寄り添い、将来のことまで考えて、何を身に付けさせるべきなのか」を学んでおくことが必要です。そのためには、研究室やゼミでの研究も大事にしてほしいです。

また、教育実習で担任の先生の動き方をよく見ておくとよいと思います。どのように子供と関わっているのか、何を考えながら子供に言葉掛けしているのか、実際に見ながら学んでおくとよいです。

教員になったら、学校組織の一員になるので、社会性や一般常識を身に付けておく必要があります。教育系以外のアルバイトやサークル活動などをしながら、経験を積んでおくとよいと思います。

Q 魅力ややりがいを実感したことは何ですか？

A 「勉強が苦手だ」と言っていた児童が、日記に「楽しいから、もっと勉強したい」と書いてくれた時に、やりがいを感じました。学校に登校できる楽しさや嬉しさを伝えられるのも魅力の一つです。

Q 教員を目指す学生の皆さんに伝えたいことは？

A 教員はやりがいのある仕事です。私はまだ1年目ですが、様々な先生方に助けられながらも、毎日試行錯誤し、子供の「分かった」という表情を引き出せるように工夫することが楽しいです。

ぜひ、教員を目指す方には、頑張ってください。

